

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	製品企画(基礎)	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	1年			教科番号	1C01	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	製品設計・商品企画の基礎を学ぶ					
到達目標	<p>①Photoshopを使用して、画像・写真の明度・彩度・色相などを変更したり、フィルタ機能などを使用した画像処理を行うことができる</p> <p>②illustratorでベクターデータを編集して、簡単な名刺を作成することができる</p> <p>③3DCADを使用して、2つ以上の図形を結合・切り取りなどを行い、簡単な図形をモデリングすることができる</p> <p>④機械・建築のものづくりの基礎知識のテストで6割以上の点数をとることができる</p>					
教材名	・授業配布プリント					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かして材料、流体、熱、機構、制御、加工などの機械工学の基礎知識を習得について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	・スマートフォンアプリやwebでの動作検証、 スマートフォンアプリやweb教材の参照、 e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	10%	50%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	Photoshop基礎 基本操作とツールの使い方
2	Photoshop基礎 基本操作とツールの使い方
3	工業製品の基礎知識① 工業製品の分類と特徴
4	Photoshop基礎 基本操作とツールの使い方
5	Photoshop基礎 基本操作とツールの使い方
6	工業製品の基礎知識① 工業製品の分類と特徴
7	Photoshop基礎 基本操作とツールの使い方
8	Photoshop基礎 基本操作とツールの使い方
9	工業製品の基礎知識② 材料と加工法
10	Photoshop基礎 基本操作とツールの使い方
11	Photoshop基礎 基本操作とツールの使い方
12	工業製品の基礎知識② 材料と加工法
13	illustrator基礎 基本操作とツールの使い方
14	illustrator基礎 基本操作とツールの使い方
15	建築製品の基礎知識① 建築製品の種類と用途
16	illustrator基礎 基本操作とツールの使い方
17	illustrator基礎 基本操作とツールの使い方
18	建築製品の基礎知識① 建築製品の種類と用途
19	illustrator基礎 基本操作とツールの使い方
20	illustrator基礎 基本操作とツールの使い方
21	建築製品の基礎知識② 建築材料の特性
22	illustrator基礎 基本操作とツールの使い方
23	illustrator基礎 基本操作とツールの使い方
24	建築製品の基礎知識② 建築材料の特性
25	Autodesk Fusion基礎① ユーザーインターフェースの理解と基本操作
26	Autodesk Fusion基礎① ユーザーインターフェースの理解と基本操作
27	工学の基礎知識① 機械の3条件について
28	Autodesk Fusion基礎② スケッチツールを用いた2D図形の作成
29	Autodesk Fusion基礎② スケッチツールを用いた2D図形の作成
30	工学の基礎知識① 機械の3条件について
31	Autodesk Fusion基礎③ 3Dモデリングの基本操作(押し出し、回転など)
32	Autodesk Fusion基礎③ 3Dモデリングの基本操作(押し出し、回転など)

回数	講義内容
33	工学の基礎知識② ニュートンの運動の第2法則
34	Autodesk Fusion基礎④ ブーリアン(和・差・積)について
35	Autodesk Fusion基礎④ ブーリアン(和・差・積)について
36	工学の基礎知識② ニュートンの運動の第2法則
37	楠祭 出典作品づくり
38	楠祭 出典作品づくり
39	楠祭 出典作品づくり
40	楠祭 出典作品づくり
41	楠祭 出典作品づくり
42	楠祭 出典作品づくり
43	楠祭 出典作品づくり
44	楠祭 出典作品づくり
45	楠祭 出典作品づくり
46	作品品評会
47	確認テスト
48	確認テスト

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	製品企画(応用)	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	1年			教科番号	1C02	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	製品設計・商品企画の応用を学ぶ					
到達目標	①Photoshopを使用して、画像をレーザーカッターで彫刻する処理を行える ②illustratorを使用して、ベクタデータをレーザーカッターで切断する処理を行える ③3DCADでモデリングしたデータを3Dプリンタで出力することができる					
教材名	・授業配布プリント					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かして材料、流体、熱、機構、制御、加工などの機械工学の基礎知識を習得について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	・スマートフォンアプリやwebでの動作検証、 スマートフォンアプリやweb教材の参照、 e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	60%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	レーザーカッター使用のための講義
2	レーザーカッター使用のための講義
3	Photoshop応用 Photoshopをレーザーカッターで使うため方法
4	Photoshop応用 Photoshopをレーザーカッターで使うため方法
5	illustrator応用 illustratorをレーザーカッターで使うため方法
6	illustrator応用 illustratorをレーザーカッターで使うため方法
7	illustrator応用 illustratorをレーザーカッターで使うため方法
8	illustrator応用 illustratorをレーザーカッターで使うため方法
9	レーザーカッター 課題制作
10	レーザーカッター 課題制作
11	レーザーカッター 課題制作
12	レーザーカッター 課題制作
13	レーザーカッター 課題制作
14	レーザーカッター 課題制作
15	レーザーカッター 課題制作
16	レーザーカッター 課題制作
17	Autodesk Fusion応用① フィレットやシェルなどの詳細ツールの活用
18	Autodesk Fusion応用① フィレットやシェルなどの詳細ツールの活用
19	Autodesk Fusion応用② 構築コマンドを使った複雑な形状のモデリング方法
20	Autodesk Fusion応用② 構築コマンドを使った複雑な形状のモデリング方法
21	3Dプリンタ基礎 3Dプリンタについての講義
22	3Dプリンタ基礎 スライサーソフトの使い方
23	3Dプリンタ基礎 スライサーソフトの使い方
24	3Dプリンタ基礎 3Dプリンタの基本操作・データの入力方法
25	3Dプリンタ 課題制作
26	3Dプリンタ 課題制作
27	3Dプリンタ 課題制作
28	3Dプリンタ 課題制作
29	3Dプリンタ 課題制作
30	3Dプリンタ 課題制作
31	3Dプリンタ 課題制作
32	3Dプリンタ 課題制作

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	CAD製図技法	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	田中	
学 年	1年			教科番号	1C03	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	CADシステムの知識と利用、ハードウェア、ソフトウェアに関する学習。 CADシステムの関連知識の学習。 製図の知識の習得。 図形に関する学習。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・CADシステムの基本知識の習得。 ・CADシステムのハードウェア、ソフトウェアに関して学習する。 ・情報セキュリティと知的財産について学習する。 ・コンピュータの操作、OSの基本知識を習得する。 ・製図の知識、製図の原理と表現方法を学習する。 ・図形に関する基礎知識を学習する。 					
教材名	2025年度版CAD利用技術者試験 2次元2級・基礎公式ガイドブック					
資格の 取得目標	2次元CAD利用技術者試験2級 コンピュータ教育振興協会					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	CADシステム開発企業で勤務経験を有する教員がその経験を活かして二次元CAD利用技術者試験2級の製図分野試験対策を行う					
履修に あたっての 留意点	授業の理解度をはかるために学期末試験を行う					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	60%	0%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	CADシステムの知識と利用 CADシステムの概要と機能 ・CADシステムとは。
2	CADシステムの知識と利用 CADシステムの概要と機能 ・CADシステムの目的と効果。など
3	CADシステムの知識と利用 CADシステムの基本機能 ・CADシステムの基本概念。
4	CADシステムの知識と利用 CADシステムの基本機能 ・CADシステムの作図機能、編集機能。など
5	CADシステムの知識と利用 CADシステムの作図データ ・データの表現方法。
6	CADシステムの知識と利用 CADシステムの作図データ ・データ変換。など
7	CADシステムの知識と利用 CADのアルゴリズム(図形) ・直線、円、角度。
8	CADシステムの知識と利用 CADのアルゴリズム(図形) ・角度など。
9	CADシステムの知識と利用 CADのアルゴリズム(コマンド) ・直線コマンドなど各種コマンド
10	CADシステムの知識と利用 CADのアルゴリズム(コマンド) ・直線コマンドなど各種コマンド
11	CADシステムのプラットフォーム CADシステムとハードウェア ・コンピュータの基本構成と機能、動作と仕組み。
12	CADシステムのプラットフォーム CADシステムとハードウェア ・入出装置。など
13	CADシステムのプラットフォーム CADシステムとソフトウェア ・コンピュータのソフトウェア、基本ソフトウェアの操作方法。
14	CADシステムのプラットフォーム CADシステムとソフトウェア ・CADソフトウェア。など
15	CADシステムのプラットフォーム ネットワークの知識 ・ネットワークの基礎知識、機能と分類。
16	CADシステムのプラットフォーム ネットワークの知識 ・インターネット、インターネットのサービス。
17	CADシステムのプラットフォーム 情報セキュリティと知的財産 ・情報セキュリティの重要性 ・コンピュータウイルス対策
18	CADシステムのプラットフォーム 情報セキュリティと知的財産 ・個人情報保護 ・パスワード管理
19	CADシステムのプラットフォーム 情報セキュリティと知的財産 ・アクセス管理 ・セキュリティ修正プログラム
20	CADシステムのプラットフォーム 情報セキュリティと知的財産 ・データバックアップ ・関連法規
21	CADシステムのプラットフォーム コンピュータの操作 ・パソコンの起動、終了。
22	CADシステムのプラットフォーム OSの基本操作 ・Windowsの基礎知識。 ・ウインドウの操作
23	CADシステムのプラットフォーム OSの基本操作 ・ファイルの情報 ・ファイルの管理
24	CADシステムの関連知識 CADシステムの運用と管理と課題 ・CADシステム導入による作業環境の変化
25	CADシステムの関連知識 CADシステムの運用と管理と課題 ・OA機器の騒音、発熱対策
26	CADシステムの関連知識 CADシステムの運用と管理と課題 ・VDT作業者の管理 ・CADシステムの標準化
27	CADシステムの関連知識 CADシステムの運用と管理と課題 ・業務におけるCADシステムの運用 ・CADデータの管理など
28	CADシステムの関連知識 3次元CADの基礎知識 ・3次元CADとは ・3次元CADメリット ・3次元CADの基本概念
29	CADシステムの関連知識 3次元CADの基礎知識 ・3次元CADのモデリング機能 ・3次元CADにおける表示技術など
30	製図の知識 製図一般 ・製図の目的 ・製図規格
31	製図の知識 製図一般 ・図面の基本要件 ・図面の大きさ
32	製図の知識 製図一般 ・図面の様式 ・図面に用いる文字や線

回数	講義内容
33	製図の知識 製図一般・図面に用いる尺度・製図における寸法記入法
34	製図の知識 製図の原理と表現方法・投影法とその分類・正投影
35	製図の知識 製図の原理と表現方法・第一角法と第三角法・投影図の選択
36	製図の知識 製図の原理と表現方法・投影図の分析方法
37	製図の知識 製図の原理と表現方法・投影法の練習問題1、2
38	製図の知識 製図の原理と表現方法・投影法の練習問題1、2
39	製図の知識 製図の原理と表現方法・投影図作図例1、2
40	製図の知識 製図の原理と表現方法・投影図作図例1、2
41	製図の知識 製図の原理と表現方法・投影図作図例3、4
42	製図の知識 製図の原理と表現方法・投影図作図例3、4
43	製図の知識 製図における図形の表現方法・投影図・断面図
44	製図の知識 製図における図形の表現方法・省略図示法・特殊な図示法
45	図形 三角形、多角形
46	図形 円、三平方の定理
47	図形 三角関数、立体図
48	図形 三角関数、立体図

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	CAD実習（初級）	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	田中	
学 年	1年			教科番号	1C04	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	製図実習を通して製図技能・知識を習得する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・CADシステムの基本概念、機能を理解すること。 ・図形の性質・基本知識を理解すること。 ・製図の基本知識を習得すること。 ・製図実習を通してCADのコマンド、使用方法を学習し、製図技能を習得すること。 					
教材名	2次元CAD利用技術者2級・基礎 公式ガイドブック。 製図実習課題集(CAD1級過去問題)。					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	CADシステム開発企業で勤務経験を有する教員がその経験を活かしてAutoCADの基本操作の習得を通じて二次元CAD利用について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	CADによる製図技能を習得すること。 製図実習課題の70%以上を提出すること。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	60%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	CADシステムの知識、基本概念、機能の理解。CADシステムの概要と機能。
2	CADシステムの知識、基本概念、機能の理解。CADシステムに関する基本的な概念。
3	CADソフトの基本機能 コマンドの使用方法
4	CADソフトの基本機能 コマンドの使用方法
5	CADソフトの基本機能 コマンドの使用方法
6	作図例1,2
7	作図例3、4、5
8	投影図作図例1
9	投影図作図例2、3
10	投影図作図例4
11	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題A(5問)。
12	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題A(5問)。
13	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題B(5問)。
14	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題B(5問)。
15	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題C(5問)。
16	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題C(5問)。
17	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題D(5問)。
18	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題D(5問)。
19	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題E(5問)。
20	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題E(5問)。
21	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題F(4問)。
22	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題F(4問)。
23	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題G(4問)。
24	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題G(4問)。
25	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題H(4問)。
26	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題H(4問)。
27	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題I(4問)。
28	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題I(4問)。
29	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題I(4問)。
30	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題J(4問)。
31	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題J(4問)。
32	作図課題(CAD1級過去問題)による実習。問題J(4問)。

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	機械工学	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	佐藤 泰	
学 年	1年			教科番号	1C05	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	日本の品質は、世界トップクラスのレベルにあることは、世界中の人々に広く認識されている。製造業はもちろんのこと、建設業、医療、サービス業まで品質管理（Quality Control 以下QC）は浸透している。本授業は、その品質管理の基礎となる品質管理検定（QC検定）4級でマスターする内容を学習するものである。					
到達目標	<p>組織で働く際に基本的な品質管理と企業活動について理解できるレベルを目指す。社会人として最低限知っておくべき仕事の進め方や品質管理の用語の知識を学ぶ。具体的には、手法編では事実に基づく判断（データの基礎、ロット、データの種類、データの取り方・まとめ方、平均とばらつきの概念、平均と範囲）データの活用と見方（QC7つ道具、異常値、ブレインストーミング）などである。実践編は、品質管理（品質とその重要性、品質優先の考え方、品質管理とは、お客様満足と狙いの品質、問題と課題、苦情・クレーム）管理（管理活動、仕事の進め方、PDCA、SDCA、管理項目）改善（改善、QCストーリー、3ム、小集団改善活動、重点指向）などである。その理解の証としてQC検定4級を受験し、取得する。</p>					
教材名	よくわかる 4級QC検定合格テキスト（新訂 第1版） 編著：福井 清輔 出版社：株式会社 弘文社					
資格の 取得目標	日本規格協会及び日本科学技術連盟 主催 品質管理検定（QC検定）4級					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	複合機・精密機器メーカーで実務経験を有する教員がその経験を活かして品質管理の手法と実践、企業活動の基本について授業を行う。					
履修に あたっての 留意点	スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	70%	0%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	品質管理の基礎
2	品質管理の基礎
3	管理とは何か
4	管理とは何か
5	改善とは何か
6	改善とは何か
7	標準化
8	標準化
9	データのとり方
10	データのとり方
11	QC七つ道具
12	QC七つ道具
13	工程の管理及び製品の検査
14	組織活動の基本
15	模擬演習
16	模擬演習

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	CAD実習（機械上級Ⅰ）	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	1年			教科番号	1C06	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	機械図面トレースを行い、基本的な図面の描き方を学ぶ 3Dモデリング機能を使い、立体的な図面の作成方法を学ぶ					
到達目標	①CADソフトで簡単な機械図面をトレースできる ②CADソフトで簡単な立体をモデリングできる					
教材名	・ 授業配布プリント					
資格の 取得目標	・ 2024年度版 2次元CAD利用技術者試験2級・基礎公式ガイドブック コンピュータ教育振興協会 日経BP ・ 配布プリント					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かして機械製図の知識・AutoCADの応用操作、Fusion360の操作方法を習得について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	・ 授業の理解度をはかるため定期的にスキルチェックテストを実施し、それも評価に含める。 ・ アプリ、webでの動作検証、web教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	20%	50%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	コマンドエイリアスについて講義を行い、アイコンを使わないCADのオペレーション方法について学ぶ
2	コマンド練習 印刷設定について講義を行い、実際に印刷を行う
3	コマンド練習 テンプレート設定について講義を行い、テンプレートの適用を行う
4	コマンド練習 Autodeskアカウントを作成し、教育用ソフトウェアの利用方法について知る
5	コマンド練習 Autodeskアカウントを作成し、教育用ソフトウェアの利用方法について知る
6	コマンド練習 図面トレースについて
7	コマンド練習 図面トレースについて
8	3D CADについて講義を行い、簡単な図形をモデリングする
9	3D CADについて講義を行い、簡単な図形をモデリングする
10	3D CADについて講義を行い、簡単な図形をモデリングする
11	簡単な図形をモデリングする(立方体・球・円錐・角錐・スイープ)
12	簡単な図形をモデリングする(立方体・球・円錐・角錐・スイープ)
13	簡単な図形をモデリングする(立方体・球・円錐・角錐・スイープ)
14	簡単な図形をモデリングする(立方体・球・円錐・角錐・スイープ)
15	ブーリアン演算について講義を行い、簡単なブーリアン演算を行う
16	ブーリアン演算について講義を行い、簡単なブーリアン演算を行う
17	ブーリアン演算について講義を行い、簡単なブーリアン演算を行う
18	ブーリアン演算について講義を行い、簡単なブーリアン演算を行う
19	キューブモデリングを通して、モデリング・ブーリアン演算を学ぶ
20	キューブモデリングを通して、モデリング・ブーリアン演算を学ぶ
21	キューブモデリングを通して、モデリング・ブーリアン演算を学ぶ
22	キューブモデリングを通して、モデリング・ブーリアン演算を学ぶ
23	測定機器を使って身近な物を3D CADで1:1のモデリングを行う
24	測定機器を使って身近な物を3D CADで1:1のモデリングを行う
25	測定機器を使って身近な物を3D CADで1:1のモデリングを行う
26	測定機器を使って身近な物を3D CADで1:1のモデリングを行う
27	図面トレース 測定機器を使って身近な物を3D CADで1:1のモデリングを行う
28	図面トレース 測定機器を使って身近な物を3D CADで1:1のモデリングを行う
29	図面トレース 測定機器を使って身近な物を3D CADで1:1のモデリングを行う
30	図面トレース 測定機器を使って身近な物を3D CADで1:1のモデリングを行う
31	学期末テスト準備
32	CADスキルチェックテスト 学期末テスト

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	建築法規 I		
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	鯨井		
学 年	1年			教科番号	1C07	単位数	2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修	
	○						
授業概要	建築基準法の基礎知識を、住宅計画を行いながら習得する。						
到達目標	①建築の基本的な用語を理解する。 建築の基本的な流れを理解する。 宅計画における基本的な建築基準法を理解する。 ② ③住						
教材名	配布プリント						
資格の 取得目標	取得目標の定めなし						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	一級建築士としての業務経験を有する教員がその経験を活かして講義を通し建築法規について授業を行う						
履修に あたっての 留意点							
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	30%	30%	10%	30%		100%	

回数	講義内容
1	建築とは
2	建築の流れ
3	用途地域、用途制限
4	面積算定
5	採光
6	換気・排煙
7	階段
8	内装制限
9	各種構造
10	施工・積算
11	小住宅計画と建築基準法①
12	小住宅計画と建築基準法②
13	小住宅計画と建築基準法③
14	小住宅計画と建築基準法④
15	小住宅計画と建築基準法⑤
16	小住宅計画と建築基準法⑥

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	CAD実習（建築上級Ⅰ）	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	鯨井	
学 年	1年			教科番号	1C08	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	JWCADの基本操作を、建築図面を作図することにより習得し、建築の基礎知識を学ぶ					
到達目標	JWCADの、基本建築図面作成の操作方法を習得する。					
教材名	配布プリント					
資格の 取得目標	取得目標の定め無					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	一級建築士としての業務経験を有する教員がその経験を活かして建築設計の基礎やCAD製図技法について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	提出期限を重視し、評価対象にも反映する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	30%	40%	10%	20%		100%

回数	講義内容
1	JWCAD基本操作①（レイヤグループ、レイヤ）
2	JWCAD基本操作②（ツールバーコマンド）
3	JWCAD基本操作③（線と文字）
4	JWCAD基本操作④（線と文字）
5	JWCAD基本操作⑤（線と文字）
6	JWCAD基本操作⑥（図面記号）
7	JWCAD基本操作⑦（図面記号）
8	JWCAD基本操作⑧（縮尺と表現方法）
9	JWCAD基本操作⑨（縮尺と表現方法）
10	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力①（計画の進め方）
11	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力②（構造計画）
12	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力③（施工計画）
13	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力④（建築と設備）
14	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力⑤（インテリアデザイン）
15	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力⑥（積算）
16	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力⑦
17	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力⑧
18	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力⑨
19	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力⑩
20	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力⑪
21	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力⑫
22	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力⑬
23	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力⑭
24	住宅計画(木造在来工法)とJWCAD入力⑮

令和7年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報システム科			教科名	デザイン概論		
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	亀田		
学 年	1年			教科番号	1C09	単位数	4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修		
	△		○				
授業概要	色彩学(平面構成;イメージ構成など)と図学(図形、数学的美学原理:黄金分割)を主にワークブックを使用して行う。また遠近法を重点としたデッサン・ドローイングを継続的に行っていく。マーカー(モノトーン)によるレンダリングを基礎形態から行っていく。						
到達目標	(1)プロダクトデザインに携わる者にとって、デスクトップ上で作業する前に必要な美術的基礎能力、色彩、図学を中心に、デザイン知識を持つことができる。(2)「プロセス」を重点に、アイデアからフィニッシュワークへの“結びつき”を考えることができる。(3)デッサンによって立体的表現ができる。(4)マーカーによって立体表現ができる。						
教材名	BASIC ART WORKBOOK (HEXAS/亀田洋二著)デザインの色彩(日本色彩研究所)トータルカラー(日本色彩研究所)						
資格の 取得目標							
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	美術に関する業務経験を有する教員がその経験を活かして色彩・図形に関する基本デッサンの基礎について授業を行う						
履修に あたっての 留意点	制作時間(×切の意識)・完成度の意識・資料等の準備の徹底・イーゼルを使用時の机の合理的配置・清潔な環境・チャレンジ性制作時間(×切の意識)・完成度の意識・資料等の準備の徹底・イーゼルを使用時の机の合理的配置・清潔な環境・チャレンジ性						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割合	0%	70%	10%	20%	0%	100%	

回数	講義内容
1	概要 授業の進行、道具の使い方
2	鉛筆による塗りの説明・グラデーション・遠近法
3	遠近法 演習問題
4	デッサン／立方体（色彩構成の準備 *色コマの貼り付け／家庭課題）
5	色彩構成1「四季の表現」
6	色彩構成1「四季の表現」
7	色彩構成2「色の対比」
8	色彩構成2「色の対比」
9	デッサン／立方体
10	デッサン／球
11	デッサン／静物・ブロック
12	デッサン／静物・ブロック
13	マーカーの演習 1点透視法～3点透視法による「板」の表現
14	マーカーの演習 1点透視法～3点透視法による「板」の表現
15	図法1 黄金比率とルート長方形
16	図法2 多角形
17	色彩構成5「多角形を配したイメージ」
18	色彩構成5「多角形を配したイメージ」
19	デッサン／ガラスの質感静物ーワイン瓶
20	デッサン／ガラスの質感静物ーワイン瓶
21	デッサン／ガラスの質感静物ーワイン瓶
22	デッサン／ガラスの質感静物ーワイン瓶
23	マーカーの演習 レンダリング 遠近法によるルービックキューブの表現
24	マーカーの演習 レンダリング 遠近法によるルービックキューブの表現
25	マーカーの演習 レンダリング 遠近法によるルービックキューブの表現
26	マーカーの演習 レンダリング 遠近法によるルービックキューブの表現
27	デッサン／質感の表現ー金属・缶
28	デッサン／質感の表現ー金属・缶
29	デッサン／質感の表現ー布
30	デッサン／質感の表現ー布
31	講評／総括
32	講評／総括

令和7年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報システム科			教科名	表現基礎	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	亀田	
学 年	1年			教科番号	1C10	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	色彩表現(イメージ構成)によって色彩の意識の確認。第三角法による立体の読み取りと表現。質感、塊を捉えたより表現を深めたデッサン。マーカ―(モノトーン)によるより複雑な形態を表現できるレンダリング。					
到達目標	(1)前期に習得したベーシックなデザイン知識と表現能力を延ばすことができる。(2)デッサンによって、遠近法、構図、質感表現をより深く習得できる。(3)レンダリングにおいて、より複雑なモチーフを表現できる。(4)色彩表現能力を安定させる。(5)ポートフォリオに加えられる充実した作品を多く完成できる。(6)目的に合わせた資料を準備することができる。					
教材名	BASIC ART WORKBOOK(HEXAS/亀田洋二著)デザインの色彩(日本色彩研究所)トータルカラー(日本色彩研究所)					
資格の取得目標						
授業内容と教員の実務経験の関連性	美術に関する業務経験を有する教員がその経験を活かして色彩・図形に関する基本デッサンの基礎について授業を行う					
履修にあたっての留意点	制作時間(〆切の意識)・完成度の意識・資料等の準備の徹底・イーゼルを使用時の机の合理的配置・清潔な環境・チャレンジ性					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	0%	70%	10%	20%	0%	100%

回数	0
1	図学II 三角法による図面読み取り
2	図学II 三角法による図面読み取り
3	平面構成 三角法による立体のデザイン
4	平面構成 三角法による立体のデザイン
5	遊びのサイコロの考案
6	遊びのサイコロの考案
7	レンダリング1 カタログ資料収集によってマーカ―表現／家電製品1(冷蔵庫)
8	レンダリング1 カタログ資料収集によってマーカ―表現／家電製品1(冷蔵庫)
9	レンダリング1 カタログ資料収集によってマーカ―表現／家電製品1(冷蔵庫)
10	レンダリング2 カタログ資料収集によってマーカ―表現／家電製品2(空気清浄機)
11	レンダリング2 カタログ資料収集によってマーカ―表現／家電製品2(空気清浄機)
12	レンダリング2 カタログ資料収集によってマーカ―表現／家電製品2(空気清浄機)
13	デッサン<静物・パイプ継ぎ手>
14	デッサン<静物・パイプ継ぎ手>
15	デッサン<静物・パイプ継ぎ手>
16	デッサン<静物・パイプ継ぎ手>
17	レンダリング3 /カタログ資料収集によってマーカ―表現／家電製品3 掃除機
18	レンダリング3 /カタログ資料収集によってマーカ―表現／家電製品3 掃除機
19	レンダリング3 /カタログ資料収集によってマーカ―表現／家電製品3 掃除機
20	レンダリング3 /カタログ資料収集によってマーカ―表現／家電製品3 掃除機
21	レンダリング4 /カタログ資料収集によってマーカ―表現／自動車
22	レンダリング4 /カタログ資料収集によってマーカ―表現／自動車
23	レンダリング4 /カタログ資料収集によってマーカ―表現／自動車
24	レンダリング4 /カタログ資料収集によってマーカ―表現／自動車
25	レンダリング4 /カタログ資料収集によってマーカ―表現／自動車
26	レンダリング4 /カタログ資料収集によってマーカ―表現／自動車
27	デッサン<静物・ジョーロ>工業製品
28	デッサン<静物・ジョーロ>工業製品
29	デッサン<静物・ジョーロ>工業製品
30	デッサン<静物・ジョーロ>工業製品
31	講評／総括・まとめ
32	講評／総括・まとめ

令和7年度 年間授業計画(シラバス)

学科名	情報システム科			教科名	造形デザイン		
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	亀田		
学 年	1年			教科番号	1C11	単位数	4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修		
	△		○				
授業概要	様々な材料:粘土・スチレンボード・発泡スチロール・アクリル板・木材を使って立体造形物や製品プロトタイプを作成する。						
到達目標	(1)設計から作成まで、材料の特性や工具の特徴を知り、自分の意図に応じた立体物を作成できるようにできる。(2)道具(カッター・超音波カッター・スチロールカッター・ドリル等)を体験し、適正な使用法を獲得する。(3)手による実体験を通し、図面制作の立体イメージを掴めるようにする。						
教材名	紙、粘土、スチロール板、発泡スチロール・木材(MDF合板) カッター、ボンド						
資格の 取得目標							
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	美術に関する業務経験を有する教員がその経験を活かして加工の知識を学びながら、試作モデルの制作について授業を行う						
履修に あたっての 留意点	作成物の計画性、道具の適正使用・制作時間(×切の意識)・完成度の意識・材料準備の徹底・清潔な環境・チャレンジ性・粘土制作は1日通しの日程(特別週)						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	0%	70%	10%	20%	0%	100%	

回数	講義内容
1	立体構成①ペーパークラフト(アイボリーケント)
2	立体構成①ペーパークラフト(アイボリーケント)
3	立体構成①ペーパークラフト(アイボリーケント)
4	立体構成①ペーパークラフト(アイボリーケント)
5	立体構成②粘土による構成
6	立体構成②粘土による構成
7	立体構成②粘土による構成
8	立体構成②粘土による構成
9	立体構成③スチレンボードによる構成
10	立体構成③スチレンボードによる構成
11	立体構成③スチレンボードによる構成
12	立体構成③スチレンボードによる構成
13	立体構成④ 木材(MDF合板)による構成(イーゼルの物入れ)
14	立体構成④ 木材(MDF合板)による構成(イーゼルの物入れ)
15	立体構成④ 木材(MDF合板)による構成(イーゼルの物入れ)
16	立体構成④ 木材(MDF合板)による構成(イーゼルの物入れ)
17	立体構成④ 木材(MDF合板)による構成(イーゼルの物入れ)
18	立体構成④ 木材(MDF合板)による構成(イーゼルの物入れ)
19	立体構成 ⑤発泡スチロール(塊)による構成
20	立体構成 ⑤発泡スチロール(塊)による構成
21	立体構成 ⑤発泡スチロール(塊)による構成
22	立体構成 ⑤発泡スチロール(塊)による構成
23	立体構成⑥ アクリル板による構成(モビール制作)
24	立体構成⑥ アクリル板による構成(モビール制作)
25	立体構成⑥ アクリル板による構成(モビール制作)
26	立体構成⑥ アクリル板による構成(モビール制作)
27	立体構成⑦ 自由材料による構成
28	立体構成⑦ 自由材料による構成
29	立体構成⑦ 自由材料による構成
30	立体構成⑦ 自由材料による構成
31	総括・講評
32	総括・講評

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	マルチメディア概論	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	田中	
学 年	1年			教科番号	1C12	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	マルチメディアの幅広い知識を学習する。					
到達目標	・コンピュータや周辺機器、インターネット、デジタルコンテンツ、携帯電話、知的財産権、マルチメディアの社会応用など幅広い知識を収得する。					
教材名	改定新版 入門マルチメディア 公益財団法人画像情報教育振興協会 マルチメディア検定エキスパート・ベーシック公式問題集 公益財団法人画像情報教育振興協会					
資格の 取得目標	マルチメディア検定ベーシック					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	CADシステム開発企業で勤務経験を有する教員がその経験を活かしてマルチメディア検定ベーシックの試験対策を行う					
履修に あたっての 留意点	出席状況、小テスト、期末試験を行い評価する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	60%	0%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	マルチメディアの特徴 アナログとデジタル ・アナログとデジタルの違い ・デジタル化 ・0と1で表現されるデジタルデータ
2	マルチメディアの特徴 アナログとデジタル ・情報の保存性 ・情報の管理 ・情報の検索
3	マルチメディアの特徴 マルチメディアを構成する要素 ・文字 ・画像 ・動画 ・音声
4	マルチメディアの特徴 ヒューマンインタフェース ・双方向性の特徴 ・双方向性の例 ・ユーザインタフェース
5	マルチメディアの特徴 ヒューマンインタフェース ・マルチモーダルインタフェース ・バーチャルリアリティ
6	マルチメディアの特徴 人間の感覚 ・視覚 ・聴覚
7	デジタル端末 マルチメディアを扱う端末
8	デジタル端末 コンピュータの構成 ・コンピュータ ・ハードウェア ・CPU
9	デジタル端末 コンピュータの構成 ・記憶装置 ・入出力装置 ・インタフェース
10	デジタル端末 オペレーティングシステム ・ソフトウェア ・オペレーティングシステム
11	デジタル端末 オペレーティングシステム ・ソフトウェア ・オペレーティングシステム
12	デジタル端末 ポータブル記録メディア
13	コンテンツ制作のためのメディア処理 ファイルフォーマット ・ファイルとファイルフォーマット ・ファイルの関連付け ・ファイルの圧縮
14	コンテンツ制作のためのメディア処理 文書作成 ・文字コード ・文字を扱うアプリケーションソフトウェア
15	コンテンツ制作のためのメディア処理 画像の処理 ・色 ・解像度 ・画像を扱うアプリケーションソフトウェア ・画像のファイル形式
16	コンテンツ制作のためのメディア処理 画像の処理 ・色 ・解像度 ・画像を扱うアプリケーションソフトウェア ・画像のファイル形式
17	コンテンツ制作のためのメディア処理 映像や音声の編集と再生 ・動画ファイルの再生 ・動画の編集 ・音声データ
18	コンテンツ制作のためのメディア処理 映像や音声の編集と再生 ・音声の録音と編集 ・MIDI
19	コンテンツ制作のためのメディア処理 3次元CGの作成 ・モデリング ・レンダリング
20	コンテンツ制作のためのメディア処理 3次元CGの作成 ・モデリング ・レンダリング
21	インターネットと通信 インターネットのしくみと役割 ・インターネット ・インターネットの歴史 ・パケット交換方式
22	インターネットと通信 インターネットのしくみと役割 ・インターネット ・インターネットの歴史 ・パケット交換方式
23	インターネットと通信 インターネットのしくみと役割 ・インターネットプロトコル ・IPv4とIPv6
24	インターネットと通信 インターネット接続 ブロードバンドネットワーク
25	インターネットと通信 モバイル通信
26	インターネットで提供されるサービス WWW ・DNS ・Webブラウザ ・URL ・プラグイン ・Cookie
27	インターネットで提供されるサービス WWW ・DNS ・Webブラウザ ・URL ・プラグイン ・Cookie
28	インターネットで提供されるサービス コミュニケーションサービスやツール
29	インターネットで提供されるサービス インターネット上で提供されるサービス
30	インターネットビジネス オンラインショッピング 金融サービス
31	インターネットビジネス 金融サービス コンテンツ配信
32	インターネットビジネス 広告とマーケティング

回数	講義内容
33	デジタルとネットワークで進化するライフスタイル 情報家電
34	デジタルとネットワークで進化するライフスタイル テレビと映像コンテンツ
35	デジタルとネットワークで進化するライフスタイル テレビと映像コンテンツ
36	デジタルとネットワークで進化するライフスタイル サービスロボット ゲーム機の変化
37	デジタルとネットワークで進化するライフスタイル サービスロボット ゲーム機の変化
38	社会に広がるマルチメディア ICカード
39	社会に広がるマルチメディア 街角のマルチメディア
40	社会に広がるマルチメディア 交通 医療と福祉
41	社会に広がるマルチメディア 学術と文化 電子図書館 行政と政治
42	社会に広がるマルチメディア 学術と文化 電子図書館 行政と政治
43	社会に広がるマルチメディア 学術と文化 電子図書館 行政と政治
44	セキュリティと情報リテラシ セキュリティ
45	セキュリティと情報リテラシ セキュリティ
46	セキュリティと情報リテラシ 個人認証
47	セキュリティと情報リテラシ 知的財産権
48	セキュリティと情報リテラシ 知的財産権

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	特別講義	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	1年			教科番号	1C13	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○	△				
授業概要	マルチメディア検定ベーシック・2次元CAD利用技術者試験2級の合格に向けた対策授業を行う					
到達目標	<p>①分野別問題を繰り返し、暗記系の問題の正答率を90%以上獲得する</p> <p>②過去問題を繰り返し、正答率を70%以上取得することができる。</p>					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・入門マルチメディア[改訂新版] 公益財団法人 画像情報教育振興協会 (CG-ARTS) ・マルチメディア検定エキスパート・ベーシック公式問題集 [改訂第三版] 公益財団法人 画像情報教育振興協会 (CG-ARTS) ・授業配布プリント 					
資格の 取得目標	<ul style="list-style-type: none"> ・CG-ARTS協会主催 マルチメディア検定 ・コンピュータ教育振興協会 2次元CAD利用技術者試験2級 					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かして履歴書の作成や自己ブランディングの講義を行う。					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ・スマートフォンなどの使用は禁止する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	50%	0%	25%	25%	0%	100%

回数	講義内容
1	検定対策用ノートの取り方
2	検定対策用ノートの取り方
3	ビジネスフレームワークを用いた情報整理方法についての講義
4	ビジネスフレームワークを用いた情報整理方法についての講義
5	検定過去問題演習1 分野別テスト&解説
6	検定過去問題演習2 分野別テスト&解説
7	検定過去問題演習3 分野別テスト&解説
8	検定過去問題演習4 分野別テスト&解説

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	キャリアデザイン I	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋/坪井	
学 年	1年			教科番号	1C14	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○	△	○			
授業概要	様々な教育アプローチを通じて、キャリア形成に必要とされる意欲・態度及び価値観を醸成し、社会的・職業的自立を目指す。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実践行動学、グループワークでの学びを踏まえて夢実現に向けて「心のあり方」と「達成のスキル」を身につけることができる ・世の中にある様々な職業について学び、また就職活動に向けての準備を通じて働く事の意義や就労意識を持つことができる ・自己ブランディングを用いて、自分自身の特徴を可視化、自覚することで履歴書などでの自己アピールに繋げることができる ・その場その場にふさわしい表現方法で自分の気持ちや考えなどを正直に伝えられるようなコミュニケーションスキルを身につけることができる 					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・「夢実現のための実践行動学」一般社団法人 実践行動学研究所 編著・発行 ・「自己発見・自己ブランディング」 					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かして履歴書の作成や自己ブランディングの講義を行う。					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ・スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	40%	30%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	委員の選出 オリエンテーション、自己紹介
2	自己ブランディングの目的 STEP1[自己分析・発見]-自分に光を当てる-(P4~17) 個人ガイダンス①
3	自己ブランディングの目的 STEP1[自己分析・発見]-自分に光を当てる-(P4~17) 個人ガイダンス①
4	基礎学力テスト、委員の選出 マンダラチャートの指導
5	基本的なパソコン操作を身につける(ICT PCスキル) 暑中見舞い指導、クラス活性化のイベント
6	基本的なパソコン操作を身につける(ICT PCスキル) 暑中見舞い指導、クラス活性化のイベント
7	基本的なパソコン操作を身につける(ICT PCスキル) 暑中見舞い指導、クラス活性化のイベント
8	基本的なパソコン操作を身につける(ICT PCスキル) 暑中見舞い指導、クラス活性化のイベント
9	・自己ブランディング STEP1 まとめ ・自己ブランディング STEP2 社会的自己分析・発見について テーマ1 私の仕事能力 2-1-1(P20-P22)
10	AIを仕事や生活で活用する為の基礎的素養を身につけている(AI利活用) ①
11	実践行動学Part1コンセプト、意欲的な心構え 実践行動学Part1マジックドア1 夢と目標
12	実践行動学Part1マジックドア2 夢を喰うバク「誤った思い込み」と「言い訳」
13	実践行動学Part1マジックドア3 自分への信頼を取り戻すために その1 行動のよりどころと心構え
14	アルスオープンキャンパス準備
15	アルスオープンキャンパス準備
16	夏休みの宿題、過ごし方などについてのオリエンテーション、個別ガイダンスなど
17	実践行動学Part1マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために その2 まず第一歩を
18	実践行動学Part1マジックドア5 目標を設定しよう
19	校長先生講話 「学ぶことの意義と役割」
20	AIを仕事や生活で活用する為の基礎的素養を身につけている(AI利活用) ②
21	個人ガイダンス① 自己ブランディング (P23-P32)
22	個人ガイダンス① 自己ブランディング (P23-P32)
23	自分の適性と職業選択
24	・業種、職種を調べる ・職種と業種の違い ※コースに合わせた職業の種類の説明
25	実践行動学Part2マジックドア1 プラス思考が自分の能力・可能性を大きく広げる
26	実践行動学Part2マジックドア1 プラス思考が自分の能力・可能性を大きく広げる
27	実践行動学Part2マジックドア2 考え方が変えれば行動が変わる
28	実践行動学Part2マジックドア2 考え方が変えれば行動が変わる
29	実践行動学Part2マジックドア3 あなたの問題は、あなたが解決できる 就職強化週間(秋期)準備①、インターンシップ指導
30	実践行動学Part2マジックドア3 あなたの問題は、あなたが解決できる 就職強化週間(秋期)準備②、インターンシップ指導
31	実践行動学Part2マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう 就職強化週間(秋期)準備③、インターンシップ指導
32	実践行動学Part2マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう 就職強化週間(秋期)準備④、インターンシップ指導

回数	講義内容
33	実践行動学Part2マジックドア5 目標があなたの才能を開花させる 就職強化週間(秋期)準備⑤、インターンシップ指導
34	自己ブランディング STEP3 長所をまとめてみましょう・短所をまとめてみましょう(P40-P41) 就職強化週間(秋期)準備⑥
35	個人ガイダンス③ 自己ブランディングまとめ
36	個人ガイダンス③ 自己ブランディングまとめ
37	自己ブランディング STEP3 3-1-6、3-1-7、3-1-9 (P48-P55)
38	個人ガイダンス③ 自己ブランディングまとめ
39	個人ガイダンス③ 自己ブランディングまとめ
40	個人ガイダンス③ 自己ブランディングまとめ
41	就職活動の流れ・考え方 冬休みの過ごし方
42	冬～年度末にかけての就職スケジュールについて 書類選考対策 履歴書の書き方 他
43	企業に選考書類を郵送する際の注意点 履歴書の書き方
44	就職活動の流れ(合同説明会、個別説明会、企業主催のインターンシップ 他)
45	就職強化週間(春期)指導①
46	就職強化週間(春期)指導② インターンシップ指導
47	就職強化週間(春期)指導③ インターンシップ指導
48	質問の仕方(OB・OG事前指導) キャリアデザインルーブリック評価 就職強化週間(春期)指導④ インターンシップ指導